

# チューニング

その昔は、過激一直線でチューニングの最前線を突走った関西も、今は本格的な路線へ方向転換。公認チューンドへの挑戦など新しい方向性を探っている。

昔に比べるとL型をチューニングしているのは減って、今は柿本レーシングぐらいになったけれど、L型をキッカケにして伸びてきたのがトリアルだろ。うね。また、一時は修学旅行のメッカにもなっていたヒロモーターは、新作ホイールのヒットを狙っている。チャレンジなどは、少しづつマリンにも力をいれていく気配がうかがえる。フ

アミリアで一世を風靡したのは、ラブトラックでおなじみの関西スポーツコーナー。最近ではKカーもやっているようだけど、本格的に取りくんではオートジュエル、ノブ、ティクオフ、タケダオート、テクニカ。そして、この連合TMCなどがKカーやチューニングを引っ張る大きな牽引力になっている。

パーソナル VOICE

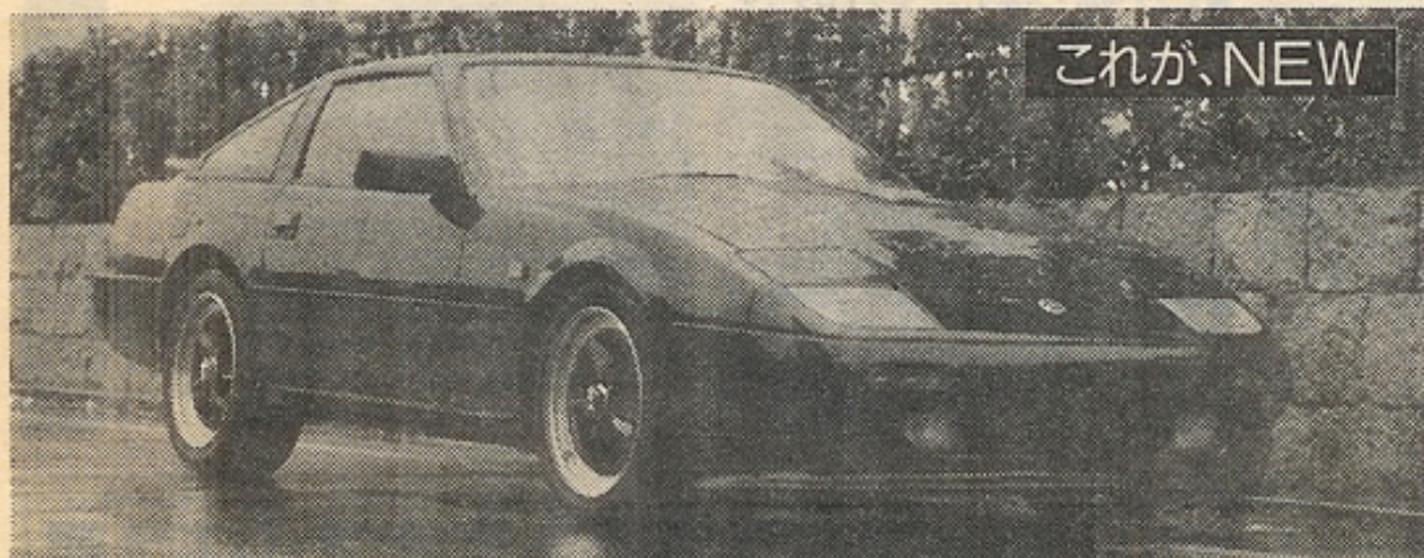
**ATの強化チューン。**  
**これが今、大人気。**  
トリアル・有馬さん

フェアレディZの300km/hオーバー以来、ハイソクラスチューニングをメインにしているのがトリアル。



とにかくシッカリした車にしてくれ、と言って愛車とお金をポンとあずけるお客さんもある、と有馬さん

「こうした究極マシンも店のイメージや最高速データとしては必要だけど、ストリートチューンで大切なのはバランスのとれたクルマ造りだ」と言う。とくに最近人気のメニューはマフラー・タービン・コンピュータ・足を80万円前後でイジるのに集中している。また、オートマチックの普及で、AT強化



これが、NEW

のチューニングもレバートリーに加わり、ますますチューニングの幅に広がりを見せている。「これからは単にクルマを作るだけじゃなくて、オーナーが満足するようなセッティングをし

ていかないと納得してくれなくなっている。だから最終的には、公認がとれるようなクルマ造りも考えていかないと」とチューニングショップの難しさを訴えていた。



2.4L、そしてTD06のツインターボ。足もバランスよく固められ、仕上がりドライブフィールともに最高!

Rolls // 新型Zも尻尾をまいて逃げ出すぜ!

このZに搭載されているRB20エンジンは、最大のライバルをI G-Gのツインターボに設定したマシンだ。もちろん、排気量を決定するベースブロックは、RB20→RB24に換装されポテンシャルアップを図っている。燃料系統は、380タイプインジェクターを追加し、Fコン+GCC+AIC IIの電子パーツとコンカムによってベストなセッティングを可能にした。むろんステン美しいタコ足にビルトされたTD06型の2個のタービンは、RB24の性能を120%引き出すことをかなえてくれるはずだ。足まわりもビルシュタインにオリジナルのサスキットで固められ、どこをとっても申し分のないチューンドマシンに仕上がっている。これなら、ニューZもメじゃないぜ!



明るい店、かわいいGAL、おいしいコーヒー。一度は行こう、アーリング



海へも、トリアルあるのみ!  
「Rolling」で新しい可能性へチャレンジ。  
ジェットスキーやボートなど、これからの僕たちの遊びは、クルマと海との合体。そんな動きを敏感にとらえて、トリアルはマリン事業へも進出した。その第一歩が、このRolling (アーリング、0722-5717896)だ。クルーザーを会員でグループ所有したり、ボートのライセンス講習をしたり、牧原さんは大忙し!